

# 野口英世 記念会報

第 67 号



# 目次

巻頭言	1	各地で行われたイベント	23
第64回野口英世記念医学賞	2	猪苗代の玄関口で野口英世をPR	
第64回野口英世記念医学賞を受賞して	4	向井潤吉画伯の絵画出展	
野口英世記念奨学生	9	第20回心の手紙コンテスト「母から子への手紙」	24
第27回野口英世博士顕彰記念少年科学賞	13	幸せ駅行きの特行列車に乗って	26
令和3年度「野口英世記念会賞」	14	野口英世生誕150年に向けて	28
野口英世記念高等学校自然科学系部活動助成事業	14	出前授業に行きます！	30
野口英世博士顕彰記念事業	15	一枚の写真から	36
第60回野口英世博士顕彰記念作文コンクール	16	令和3年度の受け入れ資料	37
野口英世記念館の動向	19	令和3年度 主な行事	38
東北DC特別展 野口英世の宝物		令和4年度 主な行事予定	39
企画展 感染症世界大流行の歴史 会期延長		出前授業のご案内	39
第93回野口英世博士命日祭		寄付のお願い	40
緑の少年団 花苗寄贈		野口英世記念館案内	
ガーナ選手団激励会			
救世観音祭礼			
野口英世博士第145回誕生祭			
青いハンカチに感謝と敬意をこめて			
新型コロナウイルス感染症のため臨時休館			
		表紙	美馬市で行われた野口英世巡回展
		裏表紙	野口英世が稲田龍吉に贈った「川魚の図」

## 巻頭言

令和4年6月、竹田美文前理事長の後任として、公益財団法人野口英世記念会の理事長に就任いたしました。同時に就任した本間稔副理事長とともに、本会のさらなる発展に尽くす所存です。

野口英世記念会は野口英世記念館の運営、生家の維持保存・公開、記念医学賞の授与、記念奨学金の貸与・給付、記念少年科学賞の授与を柱として、地域と連携した多くの活動を行っています。平成25年からは新たに小学校への出前授業を行い、野口英世の生涯・業績を小学生にもより深く知ってもらおう取り組みの一環としています。野口英世の生涯から我々が学ぶこと、そして次代を担う若者、児童に我々が伝えるべきことは、社会の変遷とともに少しずつ変化していくと考えます。しかし、野口英世が猪苗代の地から世界に飛躍し活躍した歴史、そこに到る不屈の努力は、どの時代にも、どの年代の人々にも通ずるものがあります。また、野口英世の時代から、急速に発展してきた感染症研究の成果は、今日我々の健康を支える社会基盤の一つとなっています。

さて、令和3年は令和2年と同様、新型コロナウイルス感染症により我々の日常生活が、それ以前とは大きく様変わりした年となりました。野口英世記念館の入場者数も令和元年に比べ半減しています。しかし、この新たな感染症に対して、我々人間は原因となるウイルスの性状を明らかにし、日常生活における予防策を確立してきました。また、ワクチンを実用化し接種するとともに、抗ウイルス剤をはじめとする治療薬の開発にも成功しています。過去の感染症に対する人類の歴史を考えれば、新たな感染症の出現から2年でこれらのことが達成されたことは驚くべきことといえます。その基盤として、20世紀初頭、野口英世らが活躍した時代から蓄積されてきた感染症研究の成果があったことは言を俟ちません。新型コロナウイルスが世界から姿を消すことはなく、我々はいずれ多くの感染症の一つとしてこの感染症とともに生きていくことになると考えられます。野口英世記念会は、現代の感染症学の基盤を築いた歴史を知ってもらおう場として、さらに、小中高校生への支援から世界トップレベルの研究者の顕彰を通して、将来の感染症に対する人類の歩みを支援し貢献する存在として前進を続けます。今後とも、皆様のご支援ご鞭撻をお願いいたします。

令和4年4月1日

公益財団法人 野口英世記念会

理事長 倉根 一郎



# 第64回野口英世記念医学賞

野口英世記念医学賞は、野口英世博士が生前に行った研究に関係のある優秀な医学研究に対し、その功績を表彰するものです。

## 受賞者

東京大学 医科学研究所 教授

獣医学博士 川口 寧



川口 寧 博士

## 研究課題

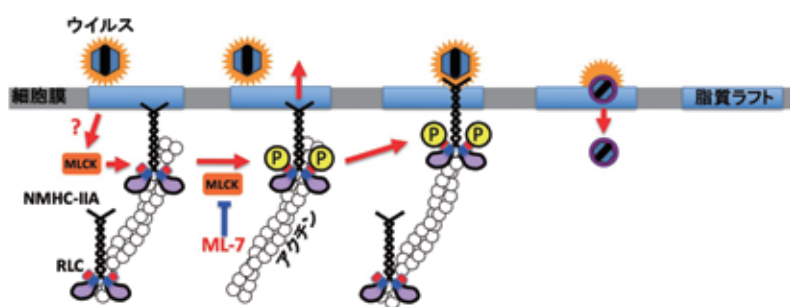
ヘルペスウイルスの増殖および病態発現機構に関する分子生物学的研究

## 受賞研究課題概要

ヘルペスウイルスは現在までに130種類以上が同定され、牡蠣からヒトにいたる様々な動物種に病気を引き起こすことから、医学、獣医学、畜産、水産といった多領域で重要なウイルス群です。川口寧博士は、約30年間一貫してヘルペスウイルスの研究を推進し、特に、最も研究が進展している単純ヘルペスウイルスの感染機構の分子生物学的研究に関して、以下の顕著な業績を挙げています。

川口博士は、単純ヘルペスウイルスが宿主細胞に侵入する際に必要な受容体を新たに発見しました。そして、受容体の制御阻害剤がウイルスの増殖や病態を抑制することを示し、当該制御機構が新規抗ウイルス剤の開発標的になりうることを提示しました。

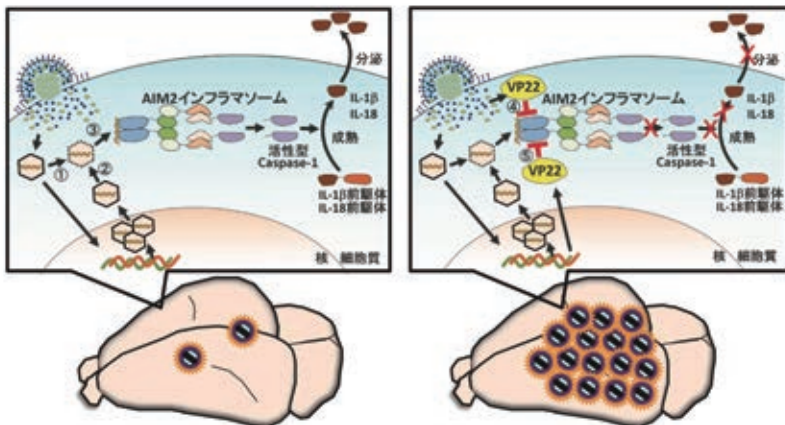
その後、長年未解明だった生体レベルにおける単純ヘルペスウイルスの免疫回避機構やウイルスが細胞の核から細胞質へ輸送される仕組みを解明しました。免疫回避機構の解明は、「なぜ単純ヘルペスウイルスは頻繁に再発するのか？」という長年の謎に切り込み、



J. Arai et al., Nature 467: 859-862, 2010  
J. Arai et al., Nature Communications 9: 3379, 2018

図1 単純ヘルペスウイルスの侵入および輸送機構の解明

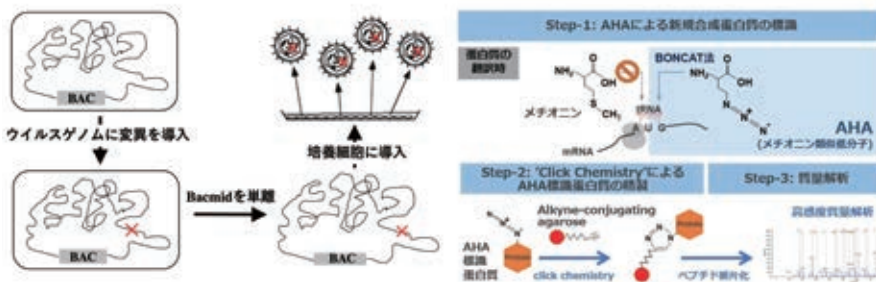
発見後100年経っても未だ実現に至らないワクチンの開発、さらには、抗ウイルス剤の効果が限定的で予後の悪い単純ヘルペス脳炎



N. Koyanagi et al., Journal of Clinical Investigation 127: 3784-3795, 2017  
 Y. Maruzuru et al., Cell Host and Microbe 23: 254-265, 2018

図2 単純ヘルペスウイルスの免疫回避機構の解明

の新規治療法にも資する重要な知見になります。一方、ウイルスの核外輸送機構の解明は、ウイルス研究から、細胞に本来備わっている生物学上極めてユニークな核外輸送の分子機構とその意義を明らかにしただけでなく、ヘルペスウイルス感染症や核内膜の恒常性破綻に起因する遺伝性疾患の新しい治療法の開発に繋がると期待されています。



M. Tanaka et al., Journal of Virology 77: 1382-1391, 2003  
 A. Kato et al., Nature Communications 11: 4894, 2020

図3 ウイルス研究を加速する技術基盤の開発

さらに、川口博士は、ウイルス研究の推進に必須な基盤技術の開発にも注力してきました。そして、従来より著しく簡便かつ迅速にウイルスの改変を可能とする技術基盤を新たに確立し、単純ヘルペスウイルスの基礎研究や医学的利用を加速させました。また、解読が困難な非標準的ウイルス遺伝子の同定を可能とする新しいウイルス遺伝子解読法の開発

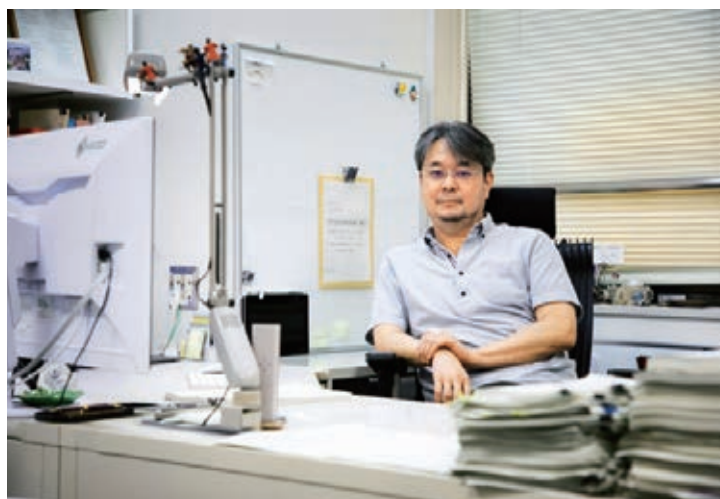


にも成功しています。この技術基盤は、他の広範なウイルスにも応用が可能であり、様々なウイルス研究への展開が期待されています。以上のように、川口博士は単純ヘルペスウイルスの研究を基軸として、一般生物学にも波及しうる最先端かつ普遍的で、学術的に極めて意義の高い知見を創出してきました。その業績はウイルス学と医学の発展に大きく貢献するものであり、野口英世記念医学賞に相応しい独創的な研究であります。

# 第64回野口英世記念医学賞を受賞して

川口 寧

この度は、第64回野口英世記念医学賞受賞という栄誉を賜り、心より御礼を申し上げます。伝統と権威のある本賞を受賞しましたことは身に余る光栄であると同時に、これまでに受賞された錚々たる諸先輩方のお名前を拝し、その末席に加えていただいたことに大きな責任を感じるとともに、身の引き締まる思いがいたします。例年は11月に猪苗代湖畔の野口英世至誠館で授賞式が行われるのですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から前年に引き続き本年も授賞式は中止になりました。新型コロナウイルス感染症によつてこれまでに多くの活動が制限され、社会は甚大な影響を受けてきました。一方で、ワクチンが迅速に開発され、日本でも多くの人々に過去に無いスピードで接種されました。さらに、本稿を執筆している令和3年12月時点で、有効と思われる治療薬が近々に使用可能となる見込みになっています。現時点で国内の新型コロナウイルス感染は一時的に収束していますが、全世界的には一進一退を繰り返しているようです。しかし、着実に新型コ



研究室での川口寧博士

ロナウイルス感染はコントロールされつつあり、同時に制限されていた社会活動が再開され始めています。今後、人間の叡智と良識ある行動によつて、新型コロナウイルス感染症が特別な病気で無くなり、コロナと共に生き

る通常の日常が戻り、次回の授賞式が例年通り執り行われることを切に願っております。私は幼少の頃から埼玉県さいたま市（旧大宮市）で育ち、東京大学に進学しました。東京大学では、教養課程（大学1、2年）での成績によつて学部・学科が決定されます。当時の私は軟式野球部に所属し、「教養課程の2年間で最も自由な（遊べる）時期」と勝手に思い込み、野球と社会勉強に没頭していました。「東京6大学リーグ」でほとんど最下位だった弱小チームでしたが、大学2年生の春のリーグ戦で創部初の準優勝を経験し、自身も首位打者とベストナインを獲得することができました。一方で、学業成績はさぞぐんで、基礎医学に興味があった私は、私の成績で進学可能だった数少ない（選択肢は3つくらいでした）学科である獣医学科に進学しました。進学後、動物を扱うのが苦手だった私は、「ウイルス研究だと、動物を扱うことも少ないだろう!？」と、これまた勝手に思い込み、獣医微生物学教室への配属を希望し、私のウイルス研究が始まりました。



東京大学軟式野球部時代の川口寧博士（左：1987年撮影）

獣医微生物学教室に配属後は、見上彪教授に指導教官として研究の魅力と論文を発表する重要性を教えてくださいました。研究の魅力は幾つかあるかと思いますが、私にとっては「自分で実験を行い、結果を世界の誰よりも早く知ることができ、それを論文という形で自身の業績として残せる」という点がとても気に入り、そのまま博士課程に進学することにしました。学部時代は主にネコ免疫

不全ウイルスの研究を行いました。ちょうどその頃、エイズ発症におけるヒト免疫不全ウイルスとヒトヘルペスウイルスの相互作用が1つのトピックになっていました。ネコ免疫不全ウイルスもネコヘルペスウイルスで活性化されるのではないかと考え、当時同じ研究室でネコヘルペスウイルスの研究を行っていた堀本泰介さん（現、東京大学獣医微生物学教室教授）や前田 健さん（現、国立感染症研究所獣医科学部部長）に相談したのがヘルペスウイルス研究を開始するきっかけになりました。

博士課程修了後は、最先端のウイルス研究を体験したくて留学することにしました。身の程知らずに「せっかく留学するなら世界トップレベルの研究室に留学したい」と考え、図書館のコンピューターで文献を調べたところ（当時はEmailも無く、自分や研究室のコンピューターで文献検索もできませんでした）、ヘルペスウイルスの世界的権威であるシカゴ大学の Bernard Roizman 教授の研究室に強く惹かれました。そこで、Roizman 教授に私から直接手紙を書いたところ、幸運にも受け入れていただけることになりました。なお、学生の時から今日までお世話になり、同じ頃に留学した研究室の先輩には、第60回

本賞受賞者の朝長啓造さん（現、京都大学ウイルス・再生医科学研究所教授）がいらっやいます。

ヘルペスウイルスは、DNAのゲノムをもつDNAウイルスで、牡蠣といった無脊椎動物から高等哺乳動物に至るまで様々な宿主から約130種類が分離されており、それぞれの宿主に固有の病態を引き起こします。潜伏感染と回帰発症を引き起こすことが最大の特徴で、医学領域だけで無く、獣医、畜産、水産といった多領域において重要なウイルス群です。単純ヘルペスウイルス (HSV: herpes simplex virus) は、古く（1920年頃）から精力的に研究が推進されており、ヒトに脳炎、口唇ヘルペス、生殖器ヘルペス、皮膚疾患、眼疾患、全身性の新生児ヘルペスといった多様な疾患を引き起こします。HSV感染症に対しては、ノーベル賞の受賞対象となった抗ウイルス剤アシクロビルが開発されていますが、脳炎や生殖器ヘルペスに対してはその効果は限定的であり、ワクチンも未だ開発されていません。ワクチン開発に関しては、ざっと調べただけでもメガファーマを含む15社16パイプラインが臨床試験に進んでいます。開発が困難なように脱落が多いのが現状です。さらに、生殖器ヘルペスはヒト免疫不全ウイルスや

ヒト白血病ウイルスの感染危険度を2〜4倍程度増加させ、HSV感染は認知症の増悪に関与するという報告もあります。このようにHSV感染症は他の様々な疾患に影響を及ぼし、また、長年精力的に研究が推進されてきたにもかかわらず現在でもアンメット・メデイカルニーズの高いことから、医学上重要な感染症です。

ウイルスはゲノムを宿主細胞に放り込むだけで、増殖の殆どを宿主細胞機構に依存します。よって、ウイルスの増殖機構を明らかにするためには、「ウイルスが如何に宿主細胞機構を利用するか？」つまり、ウイルスと宿主細胞との相互作用の解析がキーとなります。当時、特定の蛋白質と相互作用する蛋白質を網羅的にスクリーニングする画期的な酵母two-hybrid systemが開発され、留学する際には、何とかこの系を修得してウイルス因子と相互作用する宿主細胞因子同定に基づく「ウイルスと宿主細胞の相互作用の研究」を推進したいと思っていました。偶然にも、Roizman研究室に留学してみると、多くの研究員が酵母 two-hybrid systemを用いて特定のHSV因子と相互作用する宿主細胞因子の同定を試みていました。私の希望をRoizman教授に伝えると、HSVの増殖と潜

伏の双方に重要な役割を担うウイルス因子ICPOを対象とすることを勧められ、相互作用する宿主因子のスクリーニングを行いました。そして、ICPOが様々な宿主因子と相互作用する驚くべき多機能因子であることを明らかにし、「限られたゲノム情報しかもちえないウイルスが、各ウイルス因子を多機能化することにより様々な宿主細胞機構を制御する」といったウイルスの巧みな生存戦略を垣間見ることができました。ウイルスと宿主細胞との相互作用の研究は、ウイルス学の根幹を成す研究の1つであり、留学から現在に至るまで、私の研究の柱の1つとなっています。

1997年に帰国後は、東京医科歯科大学・難治疾患研究所の平井莞二教授および山梨裕司教授（現、東京大学医科学研究所）の研究室、また、2002年からは名古屋大学医学部の西山幸廣教授の研究室に所属し、HSVおよび癌を引き起こすヘルペスウイルスであるEpstein-Barrウイルスの研究に従事しました。この間、完全長の感染性HSVゲノムクローンを保持した大腸菌を利用した新しいHSV改変系を確立しました。ウイルス研究において改変系は極めて重要な技術基盤ですが、従来のHSV改変系は煩雑であり、熟練と時間を要しました。確立したHSV改変系

は簡便であり短時間で目的の組換えHSVを作成することができました。本改変系は世界各国に分与され、現在も多くのHSV研究者に使用されています。本技術基盤を確立できたことで、その後の研究が大いに加速されました。

2005年には第46回の本賞受賞者である河岡義裕教授にお声がけいただき、東京大学医科学研究所（医科研）で研究室を主宰することになりました。医科研赴任後は、HSV研究に集中し、ウイルスと宿主細胞の相互作用の研究に加え、HSV改変系と病態モデル動物を駆使したウイルス病態発現機構の解析に着手しました。そして、当時大学院生だった有井潤さん（現、神戸大学医学部特命准教授／文部科学省卓越研究員）が中心となってHSVの新規受容体を同定しました。また、同定した受容体の制御阻害剤がHSVの感染や病態を抑制することが明らかにになり、新規抗ウイルス剤の開発標的になりうることを示すことができました。興味深いことに、我々の報告以降、本受容体は同じヘルペスウイルスであるEpstein-Barrウイルスだけでなく、ブニavirusやアルテリウイルス、ビルナウイルスの細胞侵入にも重要であることが報告されています。



個体レベルの病態解析をしていますと、培養細胞レベルの解析では関与し得ない免疫反応の重要性に次々と直面します。帰帰発症を繰り返すHSVは高度な免疫回避機構を獲得していると考えられますが、生体レベルでのHSV免疫回避機構は長い間未解明でした。

ウイルスの免疫回避機構の解析では、免疫回避を実行するウイルス因子への改変と、回避される免疫応答を実行する宿主因子への改変の影響を共に個体レベルにおいて解析するといったウイルス学と免疫学の融合研究が必要になります。幸運にも、第45、51、63回の本賞受賞者である医科研の三宅健介教授および清野宏教授、大阪大学微生物病研究所・荒瀬尚教授といった日本を代表する免疫研究者の皆様と共同研究をすることができ、研究室の小柳直人助教および丸鶴雄平助教が中心となって、生体レベルで実効性のある獲得免疫および自然免疫からのHSV免疫回避機構を明らかにすることができました。免疫回避機構の研究は、ウイルスが感染すると誘導される多種多様な免疫応答の中で、ウイルスにとって真に都合の悪い免疫応答を同定することもできます。ウイルスにとって都合の悪い免疫を人工的に誘導するのがワクチンです。これらの研究は未だ開発されていないので、HSVワクチンの開発戦略に有益な情報を提

供すると考えられます。

通常、核内の蛋白質は核膜孔依存的に細胞質へ輸送されます。しかし、核内でゲノムをパッケージングしたHSVカプシドは大きくて核膜孔を通過できません。そこで、HSVカプシドは、核膜孔非依存的な小胞媒介性核外輸送という生物学上極めてユニークな機構で核外に輸送されます。HSVカプシドの小胞媒介性核外輸送機構に関して、当時研究室の有井潤助教が中心となり、宿主細胞の膜を切断する機構をHSVがハイジャックし、カプシドの輸送に利用していることを明らかにしました。さらに、非感染細胞における巨大リボ核蛋白質複合体の核外輸送や、核内膜の恒常性維持にも同様のシステムが貢献していることも明らかになりました。核内膜恒常性の破綻は、多くの遺伝性疾患において認められ、その病態発現の原因と考えられています。実際に、本研究で明らかにした仕組みは、早老症という遺伝性疾患の原因である核膜への異常蛋白質の蓄積を制御していることがわかってきました。本研究は、ウイルス研究から細胞に本来備わっているユニークな核外輸送の分子機構とその意義を明らかにしただけでなく、HSV感染症や核内膜の恒常性破綻に起因する遺伝性疾患の新しい治療法の開発

に繋がる可能性を秘めています。

HSVゲノムの全塩基配列は約30年前に決定され、長い間、HSV遺伝子の解読は既に完了したと考えられてきました。しかし、近年の非標準的な翻訳産物をコードする遺伝子群の発見やその重要性を鑑みて、大型のDNAウイルスであるHSVにおいても、塩基配列情報では予測し得ない未同定な非標準的な翻訳産物をコードする遺伝子群があるのではないかと考えました。そこで、研究室の加藤哲久准教授が中心となり、ウイルスが宿主細胞の蛋白質合成を遮断するという特性に着目し、新規合成プロテオーム解析に基づく新しいウイルス遺伝子解読法を開発しました。そして、非標準的なウイルス翻訳産物をコードする9つの新規HSV遺伝子を発見することができました。また、新規遺伝子がコードするHSV蛋白質の1つが、末梢組織では機能せず中枢神経系でウイルスの病原性発現を制御するユニークな組織特異的病原性因子であること、さらに、その組織特異的病原性発現機構を明らかにしました。

以上、私たちのこれまでの主な研究を紹介させていただきます。今後も、ウイルスの増殖および病原性発現機構を分子から個体レ

ベルで解明し、それを基盤にウイルス感染症の新しい制御法を開発することを目指して戦略的な基礎研究を推進していきたいと思っています。さらに、ウイルスを生体プローブとして活用することで、通常の宿主の研究では解明しえない細胞・生理制御機構を紐解くアプローチに加え、ウイルス自体を生体恒常性因子として捉え直しその意義を解明するなど、様々なウイルス研究を展開していきたいと思っております。

私たちのこれまでの研究は多岐に渡っており、紙面の都合上、私とともに研究をすすめてくれました仲間達との研究全てをご紹介できないのは大変残念に思います。これらの研究業績は、決して私1人では成し得ることができないものであり、これまでに私とともに研究をすすめてくれました研究室の教員、研究員、スタッフ、学生諸君の努力の賜です。今回の受賞は、私たちの研究室の過去、現在のすべてのメンバーを含むチームでの受賞だと思っております。ここに深く感謝いたします。また、共同研究者の皆様、ご指導・ご支援をいただいた先生方、特に、直接ご指導いただいた見上彪先生、Bernard Roizman 先生、平井莞二先生、山梨裕司先生、西山幸廣先生、独立した研究室を主宰した際に多大なメン

ターシップをご供与いただきました河岡義裕先生に心より御礼を申し上げます。新型コロナウイルスによるパンデミックによって感染症研究の重要性が高まっているかと思えます。本賞の受賞を励みにさらに精進し、世界最先端の感染症研究を遂行できるように努力するとともに、将来の日本の感染症研究を担う若手研究者の育成に微力ながら尽力したいと思っております。

最後になりましたが、野口英世記念会理事長の倉根一郎先生をはじめとする記念会の皆様方および関係者の皆様方、本賞選考委員会の先生方、そして、ご推薦くださいました河岡義裕先生に心より御礼を申し上げます。また、私をこれまで温かく支援してくれた両親と姉、そして日々支えてくれた妻と2人の息子に感謝したいと思えます。私たちのこれまでの研究において、本賞受賞の様々な先生方にお世話になり、研究が大きく進展しました。不思議なご縁を感じ、野口英世記念会のご慧眼ならびにこれまでのご活動に敬意を表しますとともに、今後、貴会がますますご発展されることを祈念いたします。この度は誠にありがとうございました。



研究室のみなさんと川口寧博士

# 野口英世記念奨学生

野口英世記念奨学生制度は、有為な人材を育成し、良き社会人として世に送る目的で、高等学校に在学する間の学資金の給付を行う制度です。令和4年度の第64期奨学生は、奨学生選考委員会の推薦を受け、10名に決まりました。新しい奨学生が、それぞれのすばらしい夢を綴ってくれました。

## 「充実した高校生活に」

国見町立東北中学校

赤井 有美  
あかい はた ゆみ



私には、高校生活で頑張りたいことが二つあります。

一つ目は、勉強です。私は数学が好きなので、理系に進んで、深く学びたいと思っています。高校での学習に一生懸命取り組んで、国立公立大学に進学できるように頑張ります。

また、自分で選択する授業もあるので、興味のあるものを追究してみたいです。

二つ目は、部活動です。高校には中学校になかった部活がたくさんあるので、新しいことに挑戦し

てみたいです。また、部活動を通して新しい友達を作って、良い関係を築きたいです。

以上の二つのことに特に力を入れながら、全てのことに全力で取り組み、充実した高校生活を送りたいと思います。そして、将来の夢を見つけて、今後の人生についてのイメージを持ちたいです。

## 「野口英世さんの生き方から」

大玉村立大玉中学校

安達 菜那  
あだち なな



私は将来、自分の生まれ育った福島県大玉村で地方公務員として働くことが夢です。幼い頃からお世話になってきた故郷への恩返し。そし

て、大玉村の魅力在全国に発信することでたくさんの方に大玉村に来ていただき、好きになってもらいたいと思ったからです。

夢を実現させるために大切なのは、「信じる」ことだと思います。だから私は、高校入学後は信頼できる仲間と共に勉強、運動に励むと共に、先生方の教え一つ一つを心に刻み、自分の可能性を信じて努力し続けることで自分自身を成長させていきたいと思っています。

野口英世さんは、幼い頃に大やけどを負いましたが、周りの援助により克服しました。それは野口さんも周りを信じ、自分の努力が報われることを信じ続けたからだと思います。「信じる」ことを大切に、夢を実現したいと思っています。

## 「将来の夢」

古殿町立古殿中学校

江田<sup>えだ</sup> 愛佳<sup>あいか</sup>



私の将来の夢は、放射線技師になることです。きっかけは、自分が経験したことです。怪我をしたときに撮ってもらったレントゲンや頭痛に悩んでいたときに撮ってもらったMRIなど、放射線技師の方が撮った写真を見て、その仕事に対してとても興味が湧きました。

放射線技師になるために、しっかりと高校で勉強して、自分が目標とする大学に行けるよう頑張りたいです。

自分がしてもらったように、誰かが怪我や病気になるっていたら、原因をしっかりと追究し安心させてあげられるような技師を目指したいと思っています。

他にもやりたいことはたくさんありますが、まずは学力を身に付けて、自分の「好きなこと」を仕事にできるような、そんな大人になれるようにこれからもっと頑張りたいです。

## 「将来の夢と目標」

郡山市立行健中学校

小柳<sup>こやなぎ</sup> 臣斗<sup>おびと</sup>



障がい者の暮らしを豊かにしたい。そう思い機械開発の道を選びました。きっかけは私の親戚が苦しむ姿でした。体が不自由で椅子を利用しており、一人では生活ができません。この姿を見た時から、何かできることはないかと考えるようになりました。日々の生活の中で遠隔操作で動く機械や人の手が不要な機械を目にして、これなら助けられると思いました。

高校では電気・電子の知識、技術を学び、機械開発に必要な事を身に付けたいです。専門的な知識だけでなく、国語などの五教科もしっかりと学び基礎を固め、人として成長をし、人のために行動できる人になりたいです。

私が開発する機械が、障がい者と私達をより強く結びつけ、手を取り合って共生し、みんなが笑って幸せに暮らしていける社会を目指す手助けが出来れば良いと思います。

## 「将来のこと」

福島市立北信中学校

佐藤<sup>さとう</sup> 颯花<sup>ふうか</sup>



私は、吹奏楽部に所属していました。しかし、二年生の時、コロナウイルスの影響を受け大会に出場できず、とても悔しい思いをしました。この思いをバネに、三年生では県大会出場を果たし、銀賞をとることができました。高校でも、吹奏楽を続け、仲間と一緒に最高の音楽を作り上げていきたいです。

また、私の将来の夢は、看護師になることです。理由は、病気で苦しんでいる人や困っている人に寄り添い、支える存在になりたいからです。

夢を叶えるために、日々の勉強に励んでいます。グローバル化が進んでいる今、外国人の患者さんが増えると思います、特に英語の勉強には力を入れています。

部活動も勉強も何事にも全力で取り組み充実した高校生活にしたいです。

## 「私の追い続けたい夢」

猪苗代町立東中学校

野口 のぐち 桜菜 はるな



私の夢は、東北ゴールデンエンジェルスとのトップチームに入り、チャリーディングと事務局の仕事で両立することです。

そのために、全国大会出場の実績がある郡山商業高等学校へ進学し、七年間習い続けたチアの技術力と、取得した珠算一級の計算力を生かして部活動と勉強に一生懸命に励む決意を持ちました。私の目指す高等学校は「自治・勤労・感謝」を校訓としています。自主的に深く学び、あきらめずに自分のやるべきことに向き合い、私を支えてくださるすべての方々に感謝を忘れずに、充実した三年間を送りたいと希望に胸を膨らませています。

私は笑顔が持つ力を信じています。「チアで全国の皆様に元気と笑顔を届けたい！」という大切な夢のためにどんな困難にも負けることなく、何事にも笑顔で積極的に取り組み、目標を追い続けていきたいと思っています。

## 「自分と向き合う時間」

福島市立大鳥中学校

林 はやし あかり



私は、小さい頃から、将来の夢がたくさんあります。そして、新たな職業を知るたびに、それらにも興味がわき、まだ一つに決めかねています。

そこで私は、高校生になったら、自分と向き合う時間をもっと作って、自分が一番やりたいことを見つげたいと思っています。

高校では、中学時代よりも友達の幅が広がり、社会活動に参加する機会も増え、今まで知らなかったことに出会うチャンスが多くあると思います。そのなかで、自分の視野を広げ、自分自身をもっと知ることができるよう努力していきます。

そして、将来の夢が決まったら、さらに自分を磨き、その夢の実現のために自分を高めたいと思います。これからの自分の進むべき道を決める高校生活が、今から楽しみです。

## 「部活動の抱負と将来の夢」

猪苗代町立猪苗代中学校

本名 ほんな 翔 しょう



僕の高校生活の抱負は二つあります。一つ目は、サッカーです。理由は、自分は小学校からサッカーをやっており中学校を卒業したら山形の強豪校へ進学し日々精進して仲間とともに選手権優勝という目標をかかげてやっていきたいからです。

二つ目は、スポーツ探究（STI）コースというアスリート養成系です。理由は、パンフレットがわたされて内容を見てた時に救急介護法の資格がとれると書いてあって自分の夢を叶えるにはこのコースが一番近道だと思ったからです。自分は将来大学か専門学校にかよって救命救急士を目指し国家試験に合格したらどこかプロのサッカーチームで働きたいです。

## 「思い描く高校生活」

須賀川市立第一中学校

山野辺 やまのべ  
柚葉 ゆずは



私は、高校生活では、学習にも部活動にも積極的に取り組んでいきたいと思っています。

学習面では、高校卒業後の大学進学という目標を達成できるように、成績を上位で安定させたいです。そのために、自分自身の課題を見つけ、克服できるように努力していきたいです。また、毎日勉強する習慣をつけていきたいと思っています。

部活動面では、自分に合った部活動に入部し、上位大会への出場を目指して頑張っていきたいです。そのために、仲間とコミュニケーションをとりながら努力をし、実力をつけていきたいと思っています。

高校生活も、中学生生活と同様にあつという間に三年という月日が過ぎると思います。だから、一日一日を大切にしていきたいです。また、高校で出会う仲間とともに切磋琢磨して、悔いの残らない三年間にしたいです。

## 「これからの自分」

矢祭町立矢祭中学校

吉成 よしなり  
崇裕 たかひろ



私は将来、理学療法士、又は作業療法士になり、助けが必要な人々のために尽力したいと考えています。将来の夢を実現するために進学実績が多い高校に入学し、大学に進学したいと思っています。高校では、大学進学に必要な学力を身に付けることと、人間性を養えるよう、三年間の生活を充実させ、濃密な時を送りたいと思っています。そして、奨学生に選ばれた自覚や責任、誇りをもち、これからの時間を無駄にしないよう生活していきたいと思っています。そして将来、自分が目標とする仕事に就き、多くの人を笑顔にすることができるよう、今まで以上に勉学に励んでいきたいと思っています。

# 第27回野口英世博士顕彰記念少年科学賞

野口英世博士生誕の地、猪苗代町の小中学校から作品を募集する野口英世博士顕彰記念科学賞は第27回を数えました。今回は小学校198点(昨年度157点)、中学校18点(昨年度11点)、計215点(昨年度168点)の研究作品の応募がありました。昨年度から47点も応募が増え、内容も大変興味深い作品が多くみられました。

本年度の入賞作品は左記の通りです。おめでとうございます。

## 最優秀賞

救え！ 町の花「サギソウ」  
長瀬川の色は行方は・・・？

猪苗代小学校 6年 小林 花帆  
猪苗代中学校 2年 五十嵐史哉

## 優秀賞

きあげはのかんさつ  
カタツムリのしじく・かんさつきろく  
「は」ははのじっけん

翁島小学校 1年 齋藤 義明  
翁島小学校 2年 坂本 陸仁  
長瀬小学校 3年 渡部 正和

蓮を守れ！ザリガニほかく大実験

翁島小学校 4年 楠 脩汰

ぼくの手 大丈夫！？

猪苗代小学校 5年 五十嵐 諒

I型糖尿病について ～インスリンと血糖値～

猪苗代中学校 1年 鈴木 理心

## 佳作

やさいのたねしらべ  
雲の形でお天気分かるのか

翁島小学校 1年 二瓶 真菜  
猪苗代小学校 2年 小坂橋船斗

電気が通るか調べよう

猪苗代小学校 3年 大東 真利

地球温暖化の研究 どこまで上がるか？そしてどこまで早いのか？

翁島小学校 4年 喜多見七葉

水の不思議を探れ！

猪苗代小学校 4年 杉原 蓮

カビは何でふせげるのだろうか

猪苗代小学校 5年 五十嵐咲心

MY米百科

長瀬小学校 6年 菅沼 凜

明日の天気は？ ～天気を予測する難しさ～

猪苗代中学校 2年 武上 千紘



猪苗代中学校 2年 五十嵐史哉さん



猪苗代小学校 6年 小林花帆さん

# 令和3年度「野口英世記念会賞」

福島県教育委員会が主催する中学生・高校生の優れた科学・技術研究論文を称える「野口英世賞」、国際理解に関する優秀な論文を称える「朝河貫一賞」の優秀作品に今年度より「野口英世記念会賞」を贈ることになりました。

令和4年1月5日に行われた合同表彰式で倉根一郎理事長より表彰状と記念品が贈られました。

受賞されたみなさまおめでとうございます。

## 野口英世記念会賞

### ●野口英世賞 中学校 個人研究の部

最優秀賞 福島大学附属中学校2年

阿部 悠希 さん

「ゼミの抜け殻についての考察〜未来の資源としての可能性について〜」

### ●朝河貫一賞 中学校の部

最優秀賞 須賀川市立西袋中学校3年

大越 由香子 さん

「ラゴソ、踏み出せよう。」

### ●朝河貫一賞 高等学校の部

最優秀賞 福島県立葵高等学校2年

入岡 奈々葉 さん

「イスラムを通してみたダイバーシティ」



野口英世記念会賞受賞者のみなさん

## 野口英世記念

### 高等学校自然科学系部活動

#### 助成事業

公益財団法人野口英世記念会では、野口英世が生涯をかけて世界の人々のために科学の研究に取り組んだことから、科学への興味関心を高め、未来を担う人材育成を図る目的として、部活動（研究活動）の充実のために、福島県の高校生の自然科学系部活動の助成事業を行うことといたしました。

高校生みなさんの活発な研究活動を期待いたします。

令和3年度の助成対象校は左記の通りです。

●福島県立福島西高等学校 科学部

●福島県立葵高等学校 科学部

●福島県立磐城桜が丘高等学校 科学部

●福島県立原町高等学校 数科学部



# 野口英世博士顕彰記念事業

野口英世生誕の地である猪苗代町では、町内の小・中学校の児童生徒が「二十一世紀の国際社会において野口英世に続く日本人」になることを期待し、スポーツや文化事業を通じ、野口英世の精神である「忍耐・努力」を培うことを目的にした種々の顕彰記念事業を行っています。

今年度も新型コロナウイルスの影響もあり、残念ながら中学校球技大会と小学校スキー大会が実施できませんでした。しかし、それ以外の事業は様々な制限のある中、関係者の皆様のご尽力により無事に開催できました。事業に携わっていただいた全ての方々に感謝申し上げます。



小学校体育祭 2021年9月8日



小中学校音楽祭 2021年9月30日

# 第60回野口英世博士顕彰記念作文コンクール

野口英世博士のふるさと猪苗代町の小学校4年生と中学校2年生を対象に募集を行う「野口英世博士顕彰記念作文コンクール」の授賞式が11月9日に行われました。

郷土の先輩でもある野口英世への想いや、野口英世の生き方から学んだことを書いた作品が多く寄せられました。授賞式では特選に選ばれた長瀬小学校4年松本愛徠さんと東中学校2年古内奏南さんが受賞作文を朗読しました。

## 特選

### 勇気と挑戦

長瀬小学校 4年 松本 愛徠



「勇気と挑戦」これは、長瀬小学校のめあての一つです。学習や運動、行事などで、勇気と挑戦を

心がけて生活をしています。

七月に、野口英世記念館へ行きました。野口英世博士は、勇気と挑戦を続けた人だと分かりました。左手のやけどの手じゅつをしてもらい、医師になる夢をもったそうです。そして、外国で医学研究者になりました。医学研究者になる道のりは、とても大変だったと思います。なんとしても夢をかなえたいという強い気持ちがあったのだと思います。

さて、今のわたしは、夢に向かって、勇気を出し挑戦しているだろうか。

わたしの夢は、トランポリンの日本代表として、オリンピックに出場することです。トランポリンを始めたきっかけは、一年生でスポ少に入ったことでした。三年生で、郡山のクラブにも入りまし

## 野口英世博士に関する作文

〈小学校の部・第4学年〉

特選

勇気と挑戦

長瀬小

松本 愛徠

金賞

あきらめず努力すること

緑小

佐藤 善仁

野口英世とぼく

吾妻小

小椋 正晴

博士にとどいた母の想い

翁島小

楠 脩汰

銀賞

志を得ざればふたたびこの地をふまず

猪苗代小

大竹 瑶央

この世に生まれてきた理由

猪苗代小

杉原 蓮

野口英世に学ぶこと

千里小

鈴木ひかり

〈中学校の部・第2学年〉

特選

努力

東中

古内 奏南

金賞

英世の姿に感じて

猪苗代中

大友 優奈

銀賞

野口英世博士から学んだこと

吾妻中

後藤 優斗

野口英世の人生

猪苗代中

渡部 由愛

た。新しい技を練習している時や大会の技を練習している時などに、勇気を出し挑戦しています。はじめは、こわさがありました。体せいをまちがえて、何回も首を痛めました。でも、練習を続けて新しい技ができるようになると、とてもうれしくなつて、またがんばろうと思います。そうして、いろいろな技ができるようになりました。

野口英世博士は、勇気を出し挑戦するだけでなく、ねる時間もけずつて黄熱病についての研究を続けていて、あきらめない心もすごいと思います。

トランポリンでも、あきらめてしまったら、上手な技はできるようになりません。また、今までできていた技も、できなくなつてしまいます。

わたしは、この前、ある技ができなくなつてしまいました。コロナウイルス感染症予防のため、クラブの練習が休みになり、練習が再開した時に、こわさをもどつてしまいました。コーチから、

「おなかを上げて。」

と何度言われてもできなくて、あきらめそうになりました。その時、友達が、野口英世博士の千円札の話をしていたのが聞こえてきました。わたしは、野口英世博士の勇気と挑戦、あきらめない心を思い出しました。そして、ここであきらめたらいけないと思い、何度も何度も練習をしました。すると、だんだんこわさがなくなつていき、上手にできました。あきらめなくてよかつたなと思

ました。

今は、回転技ができるようになりたいと思っています。でも、また練習が休みになつてしまいました。だから、かかと上げやなわとびなど、家でできることを毎日やっています。

今年、東京オリンピックが行われて、トランポリンの選手達のすばらしい演技の様子を見ました。わたしの夢が大きくふくらみました。夢に向かって、野口英世博士のように、勇気と挑戦、あきらめない心をわすれずに、一生けん命がんばつていきたいと思っています。

## 特選

### 努力

東中学校 2年 古内 奏南



「志を得ざれば、再び此の地を踏まず。」

これは野口英世博士が、医師免許取得のため、上京するにあたって、家の床柱に刻んだ言葉である。意味としては、目的を果たさなければ、この場所には戻つてこないという固い決意表明であるが、私はこの言葉を掲げた野口英世博士の尋常ではない努力に心を打たれた。

野口英世博士は、幼いころに左の手に大きな火傷を負い、その手術を受けたことが、医師を目指す大きなきっかけとなる。英世は手術を受けた会陽医院の書生となり、医学、英語、ドイツ語などを学ぶようになった。このときの、学問に対する熱の入れ方が、まさに尋常ではなかったのである。

例えば、当時、野口英世は一日、三時間しか眠らず、他の時間を勉強に費やしていたそう。ここには、「ナポレオンは一日に三時間しか眠らなかった。彼になしえる努力が自分になしえられぬはずがない。」という、野口英世の勉強に対する熱意が表れている。私だったら、たとえそう思ったとしても、三時間だけの睡眠と、勉強だけの生活なんて、耐えられる気がしない。そんな生活を日常化してしまう英世は、やはりすごい努力家だったのだと思った。

その後、医師免許を取得し「志を得」た英世は、故郷の猪苗代町に帰ってくる。しかし。これで終わりではなかった。野口英世はさらなる志を立て、今度は細菌学者を目指すため、渡米したのだ。そ

の期間はなんと十五年。その十五年の間、さまざまな研究にあたるわけなのだが、その頃も、一日三時間睡眠を続けていたようで、周囲に「ノグチはいつ眠るのか？」と言われたほどだったそうである。私は今、十三歳だ。私の生きた時間よりも、野口英世の研究期間の方が長いのだと思うと、

「志を得ざれば、再び此の地を踏まず。」という、この言葉の重みをより感じられる。目的を果たすまでは帰らないという信念を貫き通していることが、とてもすごいと本当に感心する。

そんな野口英世博士が残した言葉には、次のようなものもある。

「努力だ。勉強だ。それが天才だ。誰よりも、三倍、四倍、五倍、勉強するもの、それが天才だ。」

正直、私としては、天才というものは、誰かに習ったり、経験したりしたことがないのにも関わらず、すぐに何でもできてしまう人のことを指すものだと思います。しかし、この野口英世の考え方は私とは違い、天才というものは誰よりも努力している人のことを言うのだと気づかされた。

実際に、野口英世は、尋常ではないほどの努力と研究を重ねていて、ノーベル賞候補にまで上り詰めた。実家も裕福とは言えず、左手は不自由で、子供のころはいじめを受けていたことなど、決して恵まれているとはいえない環境だった。それでも世界的に有名な細菌学者になれたのは、相当の

努力があったからなんだと思う。だからこそ、英世が発する「天才」という言葉には、英世自身の生き方が反映され、強い説得力が生まれているのだと思った。

私は今、駅伝部に所属しているが、後輩にはとても速い一年生がいる。私も含め、皆その子を「天才」と呼んでいるけれど、その子は家で毎日走っていたり、小学校で行っている練習にも混ざったりと、人一倍努力している。速さを裏付ける努力にひたむきに取り組んでいるからこそ「本当の天才」なんだと改めて感じた。私も英世やその一年生のように、そういう努力ができる人になりたいと思った。

ただ、努力をすると決意しても、それに耐えることがしんどくなるときは、もちろんある。そんなとき、私は英世のある言葉に励まされようと思う。

「忍耐は苦い。しかしその実は甘い。」

「忍耐」というのは「耐え忍ぶ」ということで、私の学校の教育目標の一つでもある。努力をし続けることは常にしんどさがつきまとう。だがそれを乗り越えた先にはきっと大きな成果を得た私がいる。私はこの言葉で、辛い時こそ顔を上げる覚悟を強くしていきたい。

私は英世の生き方から、一つの目標を成しとげるためには、何事も継続して行う努力が必要であ

るということを学んだ。だが、英世の言葉はどれも簡単に、そして短時間で成しえるような意味ではなかった。長い間の努力をすることや、努力の量、または忍耐など実行するのは難しいものばかりである。けれどどの言葉も、努力の先には必ず成功があるという希望をもたせてくれる。私はそんな英世のように日々、忍耐を持って努力を続け、いつか成功を手にする人間になりたいと思う。



作文コンクール 入賞のみなさん

# 野口英世記念館の動向

## 東北DC特別展 野口英世の宝物

令和3年3月20日～令和4年3月31日

東北に多くの観光客をお迎えする観光キャンペーン「東北DC（デステイネーションキャンペーン）」が令和3年上半期に開催されました。それにあわせて、野口英世記念館では、日ごろなかなかお目にかかることができない資料や館外からの借用資料を展示する特別展「野口英世の宝物」を開催いたしました。

平成16年に発行された千円札のなかでも初めに印刷された2号券（当館所蔵）3号券（福島県所蔵）、5号券（猪苗代町所蔵）、6号券（会津若松市所蔵）の若い記番号の千円札を一堂に会しました。

これまで、これら若い記番号の千円札がそろって展示されたことはなく、各所蔵機関のご協力により、東北DCで来県される観光客を、福島県全体で歓迎することができました。

来館者は見なれている千円札ではありませんが、希少な記番号に気づくと大変驚かれています。



一堂に会した千円札

野口英世の油彩画で、福島県が所蔵する「川魚の図」も県よりお借りして展示いたしました。この絵はニューヨークを訪れた稲田龍吉博士に野口英世が贈った油彩画で、野口の絵画の中でも評価の高い作品です。（裏表紙参照）

当館でも、複製の「川魚の図」を展示しておりますが、見比べてみると原本の油彩画の持つ写実性や迫力に驚くべきものがありました。

また日本銀行福島支店からは使用できなくなった千円札の裁断くずを利用して作られた、野口英世の胸像や肖像画・レリーフなどをお借りし来館者を出迎えるエントランスに展示いたしました。



来館者を出迎える胸像

この千円札は野口英世が千円札の肖像となったことで、PRのために日本銀行福島支店の職員の方が制作された胸像です。

これらの千円札に関する資料はふだんお財布の中にある千円札が野口英世の顔であることをあらためて身近に感じてもらう機会となり、来館者の興味を引く資料となりました。



東北DC特別展「野口英世の宝物」

このほかに、野口英世が初めての渡航の際に使用したパスポートや、研究の成果である論文集など、野口英世の生涯の節目・集大成を示す資料や、記を執筆したグスタフ・エクスタインが旧蔵していたハミングバード（ハチドリ）の標本など、野口英世のプライベートを垣間見られる資料も展示いたしました。

来館者からは貴重な資料を見ることができたと喜んでくださる声も聞かれました。



好評の企画展「感染症世界大流行の歴史」

令和2年緊急特別展として開催した「感染症世界大流行の歴史」は、多くの方に興味をもってご覧いただきました。

新型コロナウイルス感染症の収束が見えないなか、多くの方の関心が続いているため、会場を1階エントランスに移して継続して展示を行うことにいたしました。多くの方が足を止め、現状と比較しながら熱心に展示に見入る姿が良く見られました。

## 企画展 感染症世界大流行の歴史 会期延長

令和3年4月24日～令和4年6月末

野口英世博士の命日である5月21日に命日祭を執り行いました。

猪苗代町長、教育長をはじめ地域の代表者や当会役員が出席して野口英世の冥福をお祈りいたしました。

当日は野口家の菩提寺である長照寺の楠俊道住職による読経の後、参列者が献花を捧げました。

## 第93回野口英世博士命日祭

令和3年5月21日



楠俊道住職による読経

これまで野口英世の祭礼を執り行ってきました長照寺楠俊道住職が令和3年8月24日にご逝去されました。命日祭にお越しいただいたのが記念館での最後の読経となりました。

これまでの感謝御礼の気持ちとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## 緑の少年団 花苗寄贈

令和3年6月17日



緑の少年団のみなさん

今年も猪苗代町立緑小学校の緑の少年団の明さんが花を寄贈くださいました。  
10名の団員のみなさんがプランターに植えられたきれいな花を持参くださり、八子弥寿男記念館館長に贈呈くださいました。  
団員のみなさんが丹精込めて育ててくれた花により記念館が彩られ、来館者の目を楽しませてくれました。

## ガーナ選手団激励会

令和3年7月10日・8月21日



激励品の贈呈

2021年夏季に行われる東京2020オリンピック・パラリンピックのガーナ選手団のホストタウンとして猪苗代町で事前キャンプがおこなわれました。  
これら出場選手を激励するため駐日ガーナ大使館の主催で選手団激励会が猪苗代町体験交流館(学びいな)で開催されました。  
野口英世記念館からも館長が出席し選手たちに激励と記念の激励品を贈呈しました。

## 救世観音祭礼

令和3年8月9日



祭礼の様子

記念館の中庭に祀られている救世観音(一葉観音)の祭礼を執り行いました。  
この救世観音は、野口清作の左手に火傷を負わせてしまったことを悔やむ母シカの気持ちを癒すために、記念館が開館した昭和14年より祀られています。  
野口家の菩提寺・長照寺の楠恭信副住職による読経ののち、三城潟御詠歌護持親睦会のみなさまにより中田観音の御詠歌と一葉観音の御詠歌を詠じていただきました。

### 一葉観音御詠歌

ははとこと ひとつみふねに さおさして  
よろずよまでも よをすくうらん

## 野口英世博士第145回誕生祭

令和3年11月9日



少人数で行われた野口英世博士誕生祭

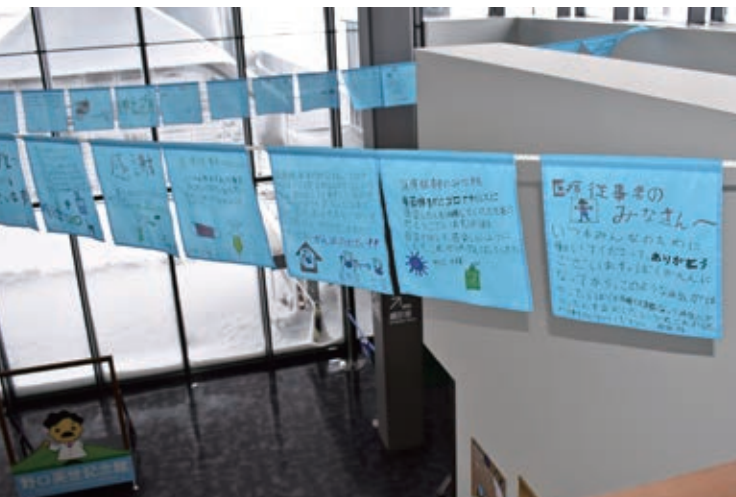
今年の野口英世博士誕生祭は、新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、野口家親族代表の二瓶昭様、野口家菩提寺長照寺副住職楠恭信様にご臨席いただき、記念会常勤役員のみで執り行われました。

楠副住職の読経の後、献花が行われ野口英世の誕生を祝いました。

2026年には野口英世博士生誕150年を迎えます。節目の年に向けて準備を進めていきたいと思えます。

## 青いハンカチに 感謝と敬意をこめて

令和3年12月より



感謝の気持ちを込めた青色のハンカチ

新型コロナウイルス感染症の対応に当たられている医療機関や福祉施設などの従事者のみなさまへの感謝の気持ちを青色のハンカチに記して記念館エントランスホールに掲げました。

ハンカチには野口英世の母校である翁島小学校の児童や地元の子どもたちが医療従事者の方への感謝や応援の気持ちや、新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束の願いが書かれています。

## 新型コロナウイルス感染症のため 臨時休館

令和4年1月28日～2月26日

2020年から本格的な感染拡大を見せた新型コロナウイルス感染症は2022年現在でも感染者の数が増加する時期があり、残念ながら今年も記念館の事業に影響を与えることになりました。

2021年の後半は感染者数が減少し流行が下火となり、教育旅行の来館も多く、館内でも展示をご覧になれる学生のみなさんの姿が見受けられました。しかし年が明け、2022年1月になるとオミクロン株による感染者数の増加傾向が見られ、福島県でも連日三桁の感染者数を記録するようになりました。それにより野口英世記念館では1月28日から2月26日まで臨時休館をいたしました。

令和3年度は、一部の野口英世博士顕彰事業の中止、奨学生懇親会などの中止、例年行っている翁島小学校の児童のみなさんによる団子さしや節分豆まきの年中行事も中止となってしまいました。行った事業でも規模を縮小して行うなどの対策をとり行われました。

今後も、記念会の事業や野口英世記念館の運営では最善の形で感染対策を講じ、一日も早い新型コロナウイルス感染症の収束を願ってまいります。



# 各地で行われたイベント

## 向井潤吉画伯の絵画展

喜多方市美術館

令和3年9月18日～11月3日

福島県喜多方市にある喜多方市美術館において、「世田谷美術館コレクション 向井潤吉展 東北・新潟を見つめる旅」が開催されました。

茅葺屋根の民家をモチーフとした向井画伯は頻りに東北を訪れ、そのなかで「野口英世博士の生れた農村風景」を描いてくださり、平成7年に当会に寄贈くださいました。

本展覧会ではこの作品を出展し、世田谷美術館のコレクションとともに、来場者になつかしさを思い起こさせる展覧会となりました。

## 猪苗代の玄関口で野口英世をPR 道の駅猪苗代

令和3年6月1日～6月30日  
令和3年8月19日～10月3日

猪苗代・磐梯高原の玄関口となる東北自動車道猪苗代・磐梯高原インターチェンジの目の前にある道の駅猪苗代は、猪苗代周辺や裏磐梯の観光の拠点として多くの方が立ち寄る人気スポットとなっています。



PRパネルの展示



ミュージアムグッズの販売



野口英世博士の生まれた農村風景

# 第20回心の手紙コンテスト 「母から子への手紙」

あなたに伝えたい想いがある

令和3年12月5日(日)第20回心の手紙コンテスト「母から子への手紙」の表彰式が猪苗代町体験交流館「学びいな」において行われました。今年は1660編の想いのつまったお手紙が全国のお母さんたちから寄せられ、大賞、準大賞、日本郵便賞各1編、優秀賞7編、佳作40編の計50編の入賞作品が選ばれました。

表彰式では大賞を受賞された中村裕子さんにより手紙の朗読が行われました。記念館では大賞など10編のお手紙を展示しご覧いただけます。

## 大賞 中村裕子さん(香川県)

「読みきかせ」という言葉を聞くと、お母さんの心は少しチクツとします。

あなたたちが小さい時、お父さんはたくさん絵本を買ってくれました。でも帰ってくるのはいつも夜中。今でいうワンオペ育児だったお母さんは、毎日くたくたでした。

あなたたちを寝かしつけたと思ったら、お布団の中から「ママ読んで」と二人の声。そのたびに「また今度ね」。たまに読んであげても、お母さんが先に寝てしまったり。読みきかせしてもらった子は心が豊か、とか聞いたたびに、あなたたちに大切な時間をあげられなかった自分を責めてしまうのです。

でもこの間、二人が「お母さんの作ったくまさんの話おもしろかったね」「うん、お母さん途中で眠っちゃうから続きを私たちで作ったよね」「絵本も続きが読みたくて、お友達の中で一番早く字を覚えたんだよね」と話しているのを聞いて安心しました。あなたたちはとても心豊かに育っていたのですね。

お手紙を朗読する中村裕子さん





大賞 中村裕子さん



準大賞 並木みどりさん



表彰式の様子



猪苗代町のお母さん方による一次選考の様子

## 準大賞 並木みどりさん (神奈川県)

あなたが小学校低学年だった頃に言った言葉は、今も私のお気に入りです。

「お母さんが生まれた時からずっと好きでお腹の中にいたんだよ。全部見てたよ。」

一見ホラーな言葉に笑ったけれど湧えない自分の過去が明るい幸せなものになりました。

私が中学の時仲良しだった友達と喧嘩し絶交して後悔した日も、恋人にフラれて泣いたバスも、入りたかった会社の面接に落ちた時も、あなたが傍（体内？）に居て見ていたのかなと考えてみると、嫌な思い出だったのに心がじわりと暖かくなります。落ち込む過去の自分の元へ行き、「大丈夫。あなたを丸ごと好いてくれる可愛い子が近くで見ているよ。将来会えるよ。」と教えてあげたい。

そして現在悩み多き中学生の娘よ、いつかあなたが言ったのと同じ事を言う女の子か男の子が今すぐそこであなたを見ているかもしれないよ。だから頑張つて。とんでもない幸せをありがとう。心から愛しています。

## 日本郵便賞 久保よしのさん (岡山県)

幸子は、英語で日本語を教えるなア。いつの間にかそんな勉強してたん？ スクールの経営までやって。世界中に点在する日本語ファンに予約制・50分間五千元？TV電話で。

コロナの前ウチへ来た時、一部始終をつい立て越して聴いたことがあったけど、あれは凄い。寝起きの私を太平洋の向こうの人に、紹介したりして。なんぼなんでもアレは恥ずかしかったわ。いつやったか家の二階も下も電波の具合が悪うて、インターネットカフェへ跳んで行った。そこでもアカンかってすぐに出た。そばに田んぼが広がってて電波の調子がええ。あぜみちへ進入。50分授業一つそこですませた。言うてケラケラ笑ろてたことがあったね？

62歳のあなたにはついて行けん母親私は86歳。放つといても100迄生きるタイプだからとあなたの太鼓判？コロナの終息近い？自由に会える日が早よ来てほしいなア！私の手作り料理食べてもらいたい。今の元気・維持しとくからな。さいなら。深呼吸するわ。

# 幸せ駅行きの鈍行列車に乗って

第19回 母から子への手紙コンテスト 大賞受賞者 住田 沙織 (愛知県)

ある日、ふと目に留まった「母から子への手紙コンテスト」の案内。その中に野口英世と母・シカの写真がありました。「あの有名な野口英世のお母さんはどんな方なのかな。」無性に気になり、頭から離れませんでした。

写真の二人がとても印象的で、早速シカの生涯について調べました。そして、その愛情の深さや母としての強さに肺腑を衝かれ、心を揺さぶられたのでした。「私も、我が子に手紙で気持ちを伝えてみたい!」と、使命感にも似た気持ちで筆を取ると、息子への気持ちが溢れ出して、400字には収まりませんでした。一番伝えたいことは何だろう。うんと考えて、悩んで、息子への気持ちを凝縮した400字の手紙が出来上がりました。

自分の思いを文字にすることで満足していたので、まさかその手紙が大賞を頂けるとはつゆとも思っておりませんでした。受賞の知らせを受けたときは、思いもよらない出来事に、嬉しくて「エーッ!」と家中に響き渡るような大きな声を出してしまいました。

大切な息子への愛の手紙。それが賞を頂け

たことで、私の気持ちを皆様にも共感していただいたように思い、温かい気持ちになりました。授賞式に是非とも参加させていただきたいと意気込んでおりましたが、このコロナ禍で授賞式への参加は叶いませんでした。とても残念に思っております。この場をお借りして、関係者の皆様方に厚く御礼申し上げます。さて、今回は発達障がいを抱えた息子への

手紙を書きましたが、我が家にはもう一人重度の障がいを抱えた娘がおります。5歳で発語なし、お座りがやつの娘です。

二人のハンディキャップのある子どもがいる家庭。かわいそうだな、と思われる方もいらっしゃるでしょう。しかし、私の家族にかわいそうなのは一人もいません。息子も娘もそれぞれに自分の好きなことがあり、自分に正直に、楽しく生きています。そのことがと



住田さんご家族

ても嬉しいので、主人と私は不幸でもかわい  
そうでもないのです（大変ではありませんけど  
ネ…）。

確かに人とは違う子育てに葛藤もあります  
し、時に焦りを感じるときもあります。ただ、  
心がしんどい時でも、息子や娘の心満たされ  
ている様子や満面の笑みを見ると「まあ、い  
いか。」と思え、何とも言えない幸福感に包  
まれるのです（毎日、疲れますけどネ…）。

さて、件の息子ですが、「母から子への手紙」  
にも書いた通り、鉄道好き少年です。そん  
な息子と先日、二人でプチ鉄道旅に出かけま  
した。

その道中、息子が「ねえ、各駅停車の電車  
に乗ろうよ。なかなかいいよ。」と言いつし  
ました。特急で行けば、すぐ目的地に着くの  
に…。なぜ鈍行列車に乗るの？と思いましたが、  
息子の提案に乗ってみることにしました。  
鈍行列車の電車旅は息子の言う通り、なか  
なか良かったです。昭和の面影の残る駅舎、  
人々の様々な表情、車掌さんの若々しいアナ  
ウンス。柔らかな太陽の光。見るもの全てが  
優しく、早く走り抜ける電車では気づかない  
新しい発見がありました。後から来る電車に  
どンドン追い越され、イライラすることもあ  
りましたが、総合的に見るととても良い時間  
でした。

この鈍行列車の旅は、わが家の二人の子ど  
もの子育てと重なるものがあります。同じ年  
齢のお子さんには、すごい勢いで成長してい  
き、どンドン先へ先へ行ってしまふことに焦りや  
苛立ちを感じることも多いです。しかし、ゆっ  
くりだからこそ感じることも多いです。

二人の子どものお陰で、同じ悩みをもつマ  
マ友や、自分の事のように真剣に悩み、考え  
て下さる素晴らしい先生方に出会うことがで  
きました。また、身近な主人や親、兄弟姉妹  
の優しさや温かさを感じることもできました。  
元気でいることの有難さや、命の大切さも子  
どもに学ばせてもらいました。私の世界を変  
えてくれたのは、わが家の二人の子ども達な

のです。

私たち家族は、これからもこのマイペース  
な鈍行列車の旅を楽しみながら、少しずつ少  
しずつ、「子どもたちの自立」という目的地  
に向かって進んでいきます。息子は好きなこ  
とを極めて、それを仕事にしていってくださ  
るといいな。娘はいろいろな人に支えられなが  
ら、親亡き後も安心できる人のそばで心地  
よく生活していけるといいな。二人の人生が、  
この先もずっと幸せであるように家族みんな  
で支え合いながら、のんびりと共に歩いてい  
きたいです。

「さあ、幸せ駅行き鈍行列車。今日もぼち  
ぼち出発進行！」



第19回大賞受賞 住田沙織さん

# 野口英世生誕150年に向けて 記念会のアウトリーチ活動

2026年は野口英世が誕生して150年の節目の年に当たります。この記念すべき年に向けて、野口英世記念会ではより多くの方にあらためて野口英世を知ってもらおう活動として各地を巡回する巡回展と、小学校、中学校を対象に学校の教室で野口英世を知っていただくパネル展を企画いたしました。

## 野口英世巡回展

野口英世記念会ではこれまで、福島県にある野口英世記念館を中心に野口英世の生涯と業績を紹介してきましたが、遠方から福島県に足を運ぶことが難しかったり、昨今は新型コロナウイルス感染症の拡大により外出を控える傾向も見えてきました。

そのような中で、記念館から外に飛び出していきパネルを中心とした展示で野口英世を知っていただく巡回展を企画いたしました。

各地の自治体教育委員会に協力を依頼し、会場を確保いただいたところに、パネルや資料を展示し、可能な場合は講演会を開催して、地域住民の方により詳しく野口英世を紹介するよういたしました。

令和3年度は徳島県美馬市の教育委員会に協力い

ただき、令和3年11月20日(土)〜12月5日(日)まで、美馬市立図書館において巡回展を開催しました。期間中約600名の市民の方が来場くださいました。



美馬市立図書館での展示の様子

あわせて、最終日の12月5日(日)に美馬市地域交流センター「ミライズ」市民ホールにおいて、講演会を開催し約250名の市民に聴講いただきました。講演会は「歴史を変えた感染症世界大流行」(竹田美文前記念会理事長)、「野口英世」人類のために―(当会学芸課長森田鉄平)の二つのテーマで野口英世の生涯と英世が挑んだ感染症の歴史を紹介しました。



多くの市民が集まった講演会

今後毎年数か所でのような巡回展を開催し多くの方に野口英世を知っていただける機会を作っていきたいと思います。

## 学校パネル展

より多くの子どもたちを対象とした企画として、各学校の空き教室を利用して野口英世の生涯を紹介するパネル展の開催を企画いたしました。

パネル展の方法は、自治体教育委員会に協力を依頼し、管轄の小中学校で開催を希望する学校を募っていたいただき、展示パネルを最初に行う学校に郵送し、その後管轄内の各学校でパネル展を開催し最終校から記念会に郵送していただきました。



独立型の展示パネル

展示のパッケージとして、展示を見ながら学習できるチャレンジシートやDVD「黄熱病との闘い」を一緒にお送りし、より深く楽しみながら展示を観ていただくようにしました。

令和3年度は、4市町の教育委員会のご協力により16校で学校パネル展を実施しました。

広島市の各学校では出前授業も併せて実施いただき、より深い学びに結び付けることができました。今後もより多くの方に野口英世を知っていただくために教育委員会などと連携を図りながらこのような巡回展を実施していきたいと思っております。



広島市立緑井小学校での学校パネル展

### 令和3年度学校パネル展実施校

- ・山形県飯豊町教育委員会
  - 飯豊町立第一小学校
  - 飯豊町立第二小学校
  - 飯豊町立手ノ子小学校
  - 飯豊町立添川小学校
- ・山形県尾花沢市教育委員会
  - 尾花沢市立福原小学校
  - 尾花沢市立宮沢小学校
  - 尾花沢市立玉野小学校
  - 尾花沢市立常盤小学校
  - 尾花沢市立尾花沢小学校
- ・山形県庄内町教育委員会
  - 庄内町立余目第三小学校
- ・広島県広島市教育委員会
  - 広島市立緑井小学校
  - 広島市立安小学校
  - 広島市立上安小学校
  - 広島市立安西小学校
  - 広島市立高取北中学校
  - 広島市立安北小学校

各教育委員会ならびに学校関係者のみなさまにはご協力いただきありがとうございました。

# 出前授業に行きます！

野口英世記念館では、修学旅行で野口英世記念館の見学を予定している小・中学校や野口英世の生涯と業績を教育活動に生かしていくこうとする学校へ出向いて、わかりやすくお話する出前授業を行っています。

令和3年度は、176校の皆さんに出前授業を行いました。いずれの学校でも、児童・生徒の皆さんが熱心に話を聞いてくださいました。たくさんいただいたお礼の手紙の中から12通を選んでご紹介します。



宮城県仙台市立木町通小学校 6年  
近藤 百恵さん

今日お話しいただいたことで、野口英世のことがよく分かりました。

今までは、野口英世といわれても顔が思い浮かぶ

だけでしたが、お話を聞いた後は、野口英世に関わった人たちを思い浮かべられるようになりました。

最初に名前が清作だったと知った時、とてもおどろきました。また、貧しかったということも知りませんでした。私は、たとえ貧しくても自分の夢をあきらめない英世の強い心がとてもすごいと思いました。研究をしている時は、3時間ほどしか眠らなかったことを聞いた時、英世の研究に対する思いが伝わってきました。人より3倍も4倍も努力して、寝る時間を減らしてまで自分の夢にまっすぐ向かっていく英世の姿はかっこよかったと思います。私も英世のように、あきらめない強い心を持ち、努力をた



宮城県仙台市立連坊小路小学校 6年  
菅原 理生さん

くさんできるようになりたいと思いました。分かりやすい説明ありがとうございました。今日のお話を生かして、今後の勉強を頑張っていきます。

先日は、野口英世についてくわしく説明いただきありがとうございました。

私が野口英世についてすごいと思ったことが二つあります。

一つ目は、野口英世が左手をやけどしても諦めなかったことです。左手がやけどで不自由になっても「諦める」という選択肢がなかったことが一番すご



いと思いました。私だったら諦めてしまうかもしれない。それほど医学が好きだという強い気持ちが伝わってきました。

二つ目は、野口英世がアメリカに行つて弟子になつたことです。最初に中国へ行つてもお金はたまらなかつたけれど、それでもアメリカに行つて仕事を見つけた。他の人の協力と共に人生を歩んできたんだと思いました。

今回のお話を修学旅行で生かしたいと思います。お忙しい中、ありがとうございました。

宮城県富谷市立明石台小学校 6年

今野 璃乃さん



先日は、お忙しい中、明石台小学校へお越しいただきありがとうございました。

野口英世について、最初から最後まで教えてくださったおかげで、偉人についてとても興味がもてました。

野口英世は、貧乏でも生きる希望を捨てずに生き

抜いていくところが素敵だと思いました。私もし野口英世だったら、火傷で指が全部くっついて学校でいじめられたら、いやになつて学校へ行かなくなります。それをがまん強く耐えた野口英世を私は尊敬します。

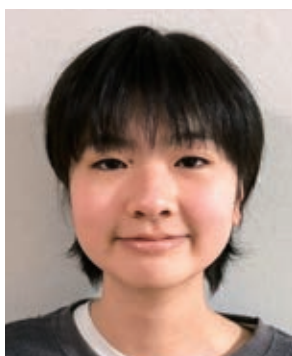
黄熱病を調べてみたら蚊によって媒介されると書いてありました。蚊のせいで広がるのに、それをワクチンによって免疫力を上げて黄熱病を食い止めるなんていう発想からたくさんの人を助けたので、黄熱病にとつては悪魔、人間にとつては神様です。そんな努力で、世界中の英雄になつたと思います。

私は、野口英世から努力すれば必ず報われると学びました。

先日は、本当にありがとうございました。

新潟県新潟市立江南小学校 6年

島津 見実さん



この度は、コロナウイルスが流行っている中、野口英世のことを教えに来てくださりありがとうございました

いました。

私は以前、野口英世のことを調べたことがあったのですが、今回は、私の知らなかったことがたくさん分かったのでとても楽しかったです。野口英世はいじめられていたこと、成績がとてもよかったこと、できることは何でもやる人ということ、そしていろんな人に支えられたこと。すべてがとても興味深かったです。特に興味深かった話は、自分の命を危険にさらしてまで黄熱病の研究に取り組んだことです。自分の命も危険なのに黄熱病で苦しんでいる人のために研究し、最後には自分もその病にかかって死んでしまう。とても悲しい話ですが、同時に感動しました。

これからも、野口英世のことをいろいろな人に教えてください。

本当にありがとうございました。



栃木県真岡市立久下田小学校 6年

小林 ひかりさん



先日は、私たちのために、遠いところから来て出前授業をしてくださり、本当にありがとうございました。

お話の中で印象に残ったことがあります。それは、野口英世（清作）を人生の中で助けてくれたたくさんの方々のことです。その人たちが一人でもいなかったとすると、その時の野口英世はいなかったかもしれない。と思うとそれは奇跡だなと思いました。手術をするためにお金を出してくれていたクラスの人たちには、とても尊敬しました。そこから、命をかけてまで研究する野口英世は、とてもかっこいいなと思いました。

野口英世記念館へ行ったら、野口英世が標本にした毒ヘビを見てみたいなと思います。今日のお話を聞いて野口英世のファンになってしまいました。あと少しで千円札の顔でなくなってしまうのがとても悲しいです。

来月の修学旅行は、とってもとっても楽しみにしています。

埼玉県久喜市立栗橋小学校 6年

鏡 珀斗さん



先日は、福島県から来てくださりありがとうございました。

野口英世には、いやな出来事があることを知りました。野口英世の出来事の中で「嬉しいこと」「悲しいこと」「切ないこと」この三つ（以上）学びました。

野口英世は母思いだと思いました。医師になるために努力し、頑張り続けている野口英世はものすごい人だということがわかりました。黄熱病の研究をしてワクチンをつくったことや、たくさんの恩人がいたことも初めて知りました。

野口英世は左手を手術した時、何も言わずに「いたい」と一言もいわないところがすごいと思いました。

野口英世の時代も現在も、優しい人がいっぱいいて、野口英世のおかげで今の世界があると思います。

修学旅行が楽しみになりました。今日はありがとうございました。

埼玉県川島町立伊草小学校 6年

信國 青凜さん



先日の人権教育講演会では、ありがとうございました。

ぼくは、野口英世について少し知っていました。が、今回の話で野口英世について、さらに深く知ることができました。野口英世が差別を受けていたことを知り、その生涯にとっても感動しました。差別を受けながらも勉強を頑張り、世界のために医学をがんばった野口英世はとてもすごいと思いました。また、黄熱病の研究のために、黄熱病が流行している国へ行ってまで研究する思いがとても素晴らしいと感じました。

ぼくも、何かに一生けん命がんばり、誰かのためになれるようがんばりたいです。機会があったら、野口英世記念館に伺いたいです。

ありがとうございました。

広島県広島市立安北小学校 6年

久都内 香さん



野口英世の生涯について、私が一番心に残ったのは「人類のために生き 人類のために死す」という言葉です。理由は、野口英世は人類に害をもたらす黄熱病やウイルス病などの病気のためのワクチンを作っていたから人類のために「生き」たのと、最後までワクチンを作るのをあきらめなかったから、人類のために「死す」のだと思ったからです。

また、その言葉は野口英世の人生をあらわしていると思います。野口英世は、最初から楽に生活をしていただけではなく、貧しい家に生まれて、そこから「はいあがつて、はいあがつて」とても有名な学者になっていったことがわかりました。

野口英世は、人の2倍、3倍、4倍も努力したのだから、私ももっと頑張らなきゃと思いました。

徳島県徳島市生光学園小学校 4年

小幡 桃想さん



お話を聞いて、野口英世についてますます興味がわきました。

赤ちゃんのときに負ったやけどで、手の指がはりついてしまったにもかかわらず、強く生きようとしたことにびっくりしました。私だったら、きっと、こんな手じゃ何にもできないと、人生をあきらめてしまったかもしれません。彼は、感染症の研究に生涯を捧げたことで有名です。今のコロナ禍だからこそ、彼のような人が必要だと思います。早くコロナがおさまるように、研究を続けている医学者たちを応援したいです。野口英世も応援した人がいたからこそ、すばらしい研究ができたからです。

いつか野口英世記念館に行ってみたいです。

徳島県美馬市立穴吹小学校 6年

知野 真帆さん



出前授業で、私はたくさんのことを学ぶことができました。特に心に残っているのは「たくさんの人に支えられてきた」というところです。どれだけ有名な野口英世でも、一人の力では高い位置につくことはできなかったと思います。しかし、お母さんの支えであったり、他の人よりも3倍努力してきた野口英世の力を生かせる場所をつくってくれた人たちがいるから、それだけ有名な人になったのかなと思います。もちろん、野口英世自身も本当にすごい人だと思いました。

人よりも2倍、3倍努力するということは、すごく難しいことだと思います。野口英世は目的がしっかりしていて、人のためにもがんばれるので、心のきれいな人だなとも思いました。

今回は自分たちの時間をけずって、遠いところから来てくれてありがとうございます。話の中で、私の知らないことがたくさんあって貴重な時間とな

りました。いつか、野口英世の勉強ができれば、このお話を思い出したいです。

広島県広島市立高取北中学校 1年

丸山 愛海さん



野口英世は、小さいころ大やけどを負ってしまったことを今日初めて知ることができました。亡くなる前まで人類のために研究を続けることはすごいことです。しかし、そのように研究をたくさんできたのは、小林先生や渡部鼎先生のおかげだと思います、この二人もすごいなと思いました。

野口英世は大やけどを負ったのに、めげずに勉強を頑張っていた努力が研究につながったと思うと、努力すればする分だけ自分に返ってくるかと改めて実感しました。貧しいからとか裕福だからとか関係なく、本人の努力や能力だと知ることができました。野口英世は勉強を頑張っていただけでなく、人への優しさや感謝の気持ちを忘れない所がたくさんの人から信頼される理由の一つであることが分かりまし

た。

たくさんの方へ行って大変なこともあったはずなのに、すごいと思いました。私も野口英世みたいに、勉強面の努力はもちろん、他のことにも一生懸命努力していきたいです。

広島県広島市立緑井小学校 6年

阿佐 颯介さん



先日は、わざわざ福島県から来てくださりありがとうございました。二か月くらい前にパネルや動画を見たけど、そこにはなかった情報や出来事をたくさん知ることができました。

今回の話で特に心に残った言葉が二つあります。一つ目は「人生の中で変えられるのは自分と未来だけだ」という言葉です。確かに、自分と未来を変えれば一気にすべてが変わるように感じました。

二つ目は、野口英世が小学生に言ったメッセージ「目的・正直・忍耐」です。自分も目的に向かい、正直になりどんなことがあっても忍耐する人になっ

たら野口英世のような善い人間になれるかなと思いました。

先日は、誠にありがとうございました。



出前授業の様子

# 令和3年度に出前授業を行った学校は次の通りです。

## 福島県

喜多方市立上三宮小学校  
郡山市立緑ヶ丘中学校  
田村市立美山小学校  
二本松市立旭小学校  
中島村立滑津小学校  
平田村立蓬田小学校  
本宮市立本宮まゆみ小学校  
矢吹町立善郷小学校  
矢吹町立三神小学校

## 宮城県

石巻市立鮎川小学校  
石巻市立大原小学校  
石巻市立稲井小学校  
石巻市立大谷地小学校  
石巻市立鹿妻小学校  
石巻市立鹿又小学校  
石巻市立北上小学校  
石巻市立向陽小学校  
石巻市立中津山第一小学校  
石巻市立広瀬小学校  
石巻市立万石浦小学校  
石巻市立湊小学校  
石巻市立寄磯小学校  
大河原町立大河原小学校  
大崎市立古川第一小学校  
大崎町立大郷小学校  
角田市立横倉小学校  
加美町立鳴瀬小学校  
加美町立広原小学校  
川崎町立川崎小学校  
栗原市立鷺沢小学校  
栗原市立志波姫小学校  
気仙沼市立気仙沼小学校  
気仙沼市立鹿折小学校  
蔵王町立永野小学校  
塩竈市立杉の入小学校  
七ヶ浜町立汐見小学校  
柴田町立槻木小学校

仙台市立荒井小学校  
仙台市立市名坂小学校  
仙台市立大沢小学校  
仙台市立沖野東小学校  
仙台市立折立小学校  
仙台市立鹿野小学校  
仙台市立北仙台小学校  
仙台市立北中山小学校  
仙台市立木町通小学校  
仙台市立黒松小学校  
仙台市立桜丘小学校  
仙台市立幸町南小学校  
仙台市立将監小学校  
仙台市立高砂小学校  
仙台市立高森東小学校  
仙台市立立町小学校  
仙台市立立燕沢小学校  
仙台市立鶴が丘小学校  
仙台市立鶴谷小学校  
仙台市立鶴巻小学校  
仙台市立寺岡小学校  
仙台市立通町小学校  
仙台市立富沢小学校  
仙台市立西多賀小学校  
仙台市立西山小学校  
仙台市立原町小学校  
仙台市立南材木町小学校  
仙台市立宮城野小学校  
仙台市立連坊小路小学校  
仙台市立六郷小学校  
仙台市立若林小学校  
大和町立落合小学校  
大和町立鶴巣小学校  
富谷市立明石台小学校  
登米市立石越小学校  
登米市立登米小学校  
登米市立錦織小学校  
登米市立西郷小学校  
登米市立南方小学校  
登米市立米谷小学校

名取市立館腰小学校  
名取市立ゆりが丘小学校  
東松島市立赤井小学校  
東松島市立赤井南小学校  
東松島市立大塩小学校  
東松島市立鳴瀬桜華小学校  
東松島市立矢本西小学校  
東松島市立矢本東小学校  
美里町立青生小学校  
美里町立北浦小学校  
美里町立南郷小学校  
南三陸町立伊里前小学校  
南三陸町立名足小学校  
村田町立村田小学校  
山元町立坂元小学校  
山元町立山下第一小学校  
利府町立利府第二小学校  
巨理町立吉田小学校  
巨理町立巨理小学校  
**新潟県**  
燕市立粟生津小学校  
燕市立大関小学校  
燕市立小池小学校  
燕市立中川小学校  
長岡市立信条小学校  
長岡市立中島小学校  
長岡市立宮内小学校  
新潟市立茨曾根小学校  
新潟市立大鷲小学校  
新潟市立金津小学校  
新潟市立上所学校  
新潟市立葛塚東小学校  
新潟市立黒崎南小学校  
新潟市立江南小学校  
新潟市立鳥屋野小学校  
新潟市立濁川小学校  
新潟市立東中野山小学校  
新潟市立巻南小学校  
新潟市立升潟小学校

新潟市立横越小学校  
新潟市立両川小学校  
妙高市立新井小学校  
**埼玉県**  
春日部市立武里南小学校  
加須市立騎西小学校  
加須市立志多見小学校  
川島町立伊草小学校  
川島町立つばさ北小学校  
久喜市立上内小学校  
久喜市立栗橋小学校  
久喜市立小林小学校  
越谷市立桜井南小学校  
幸手市立上高野小学校  
幸手市立さかえ小学校  
白岡市立南小学校  
草加市立草加小学校  
草加市立長栄小学校  
草加市立谷塚小学校  
本庄市立共和小学校  
三郷市立新和小学校  
三郷市立瑞木小学校  
**栃木県**  
宇都宮市立姿川中央小学校  
宇都宮市立横川東小学校  
小山市立大谷南小学校  
小山市立寒川小学校  
鹿沼市立栗野小学校  
鹿沼市立清洲第二小学校  
鹿沼市立南摩小学校  
上三川町立北小学校  
上三川町立坂上小学校  
上三川町立本郷北小学校  
佐野市立赤見小学校  
佐野市立伏東小学校  
栃木市立大宮南小学校  
栃木市立合戦場小学校  
栃木市立栃木第四小学校

那須塩原市立黒磯小学校  
日光市立大桑小学校  
芳賀町立芳賀北小学校  
真岡市立久下田小学校  
**山形県**  
大江町立佐沢小学校  
**群馬県**  
桐生市立新里北小学校  
吉岡町立明治小学校  
**茨城県**  
筑西市立蚕養小学校  
**東京都**  
江戸川区立新堀小学校  
**千葉県**  
市川市立東国分中学校  
**徳島県**  
美馬市立穴吹小学校  
美馬市立三島小学校  
美馬市立三島中学校  
美馬市立脇町中学校  
徳島県立脇町高等学校  
生光学園小学校  
**広島県**  
広島市立大町小学校  
広島市立上安小学校  
広島市立高取北中学校  
広島市立伴東小学校  
広島市立緑井小学校  
広島市立安北小学校  
広島市立山本小学校

# 一枚の写真から

## 野口英世渡米初期の決意

1900年アメリカに渡った野口英世は、フレキシスナー博士のもとで蛇毒の研究に取り組んでいました。研究をはじめて約半年たった8月末に一枚の写真を撮っています。

整った身なりの野口が、方尖形の墓石の横に立ち写真におさまっています。この墓には「大日本馬場辰猪之墓」と刻まれており、その人物は土佐に生ま



れ、上京ののち福沢諭吉のもとで学び、8年間のロンドン留学で西洋の法律を身に付けた人物です。帰国すると自由民権運動の言論活動で活躍し、その活動は政府の圧迫を受け、半ば亡命の形で渡米したのちもアメリカから藩閥政府に対し急進的な民権家として批判を行い続けました。しかし、結核の病魔により1888年にペンシルベニアで客死しました。

このお墓は野口が渡米後に研究を行ったペンシルベニア大学近くのウッドランド共同墓地にあり、野口は1901（明治34）年8月31日に墓参に訪れました。

野口はこの日のことを小林栄先生宛の手紙に記しています。（明治34年8月31日付 小林栄宛書簡）

「今日有名なる馬場辰猪氏の墓畔に、独り拝詣せしに其処にて一疋の小蜂が、大きな小豆虫を捕へんとして力足りず、一時間余も引き摺られて藪中に角闘せしも尚志を達せず、二時余も過ぎて、尚小豆虫は死せず。然れ共小蜂は熱心に噛付き、決して放さざりし、其終りは知らざるも、僅かに一夏の

生命の小蜂すら其志を達せんとして、二、三時間の長時間更二屈せず可歎賞事二存候。人間八六、七十年生きて、僅かに二、三年間の間の辛酸二屈するものが多い、小蜂を見て有感。」と、墓前での小蜂の執着をみて心に残るものがあつたことが記されています。

小林栄先生に宛てた手紙には、渡米から半年たつても、薄給のため次の目的のドイツ留学のめどがつかないことに不安をもっていることが記されています。しかし野口は自分の坐箴の一句である「其一瞬を慎め、去りたる時間は我物にあらず、一時一物」の言葉を記し、自らの不安を払拭しようとしています。また、「一事に成功せざれば万事に成功せず。猥りに空想する勿れと、自らよしなき考ひを打払ひ居申候」と先のことを思い悩むことはせず、目の前の一瞬に全力を傾けることを小林先生に伝えていきます。アメリカで客死したこの墓に眠る馬場辰猪も自分の信念を貫くために亡命的渡米をし、自分の言論を貫く気高い志をもつ人物でした。

また、この墓前で何時間もかけて獲物に執着する一夏の小さき生き物の姿に、野口は志を感じました。野口は、渡米後の自分に一抹の不安を感じていました。しかし、馬場辰猪や小蜂に自らを重ね合わせ、あらためて自らの初志を貫く決意を心に刻んだのかもしれません。

若き日の野口には珍しい、プライベートを写し撮ったこの写真には、当時の不安な気持ちを払拭する野口の決意が込められているのかもしれない。

## 令和3年度の受け入れ資料

○ガーナ独立記念日特集新聞記事

(東京都・在日本ガーナ共和国大使館)

○野口英世腸チフス罹患関連新聞記事

(神奈川県・奥津弘高氏)

○医学古文書

(福島県・戸田憲一氏)

○ガーナ伝統工芸ケンテ織

(ガーナ共和国・東京オリンピックピックガーナ選手団)



ガーナ伝統工芸のケンテ織り

○中村敬三氏旧蔵書籍・論文

(東京都・中村敬人氏)

当会第6代理事長を務めた中村敬三氏が旧蔵していた書籍や論文を寄贈いただいた。

○野口英世像新聞記事

(栃木県・蓑崎昭子氏)

○野口英世肖像写真

(山口県・篠田稔彦氏)

○野口英世20世紀記念切手

(福島県・半澤ゆかり氏)

○川井源八関連資料

(東京都・川井聖一氏)

○ホストタウンフレーム切手

(福島県・猪苗代町)

2020東京オリンピック・パラリンピックのガーナ共和国選手団事前合宿地として、福島県猪苗代町がホストタウンとなったことを記念し両国の風景がモチーフとなるオリジナルフレーム切手が販売され、両国をつなぐゆかりとして野口英世の生家や研究の姿が描かれました。



ホストタウンを記念したフレーム切手

○記番号ゾロ目の千円札E券

(匿名)

東北DC特別展「野口英世の宝物」で千円札E券が展示していることをお知りになり、珍しい番号の千円札をもっていると持参・寄贈くださいました。



記番号 ZS777777J

本年も多くの方より資料の寄贈、情報提供をいただきました。この場を借りましてお礼申し上げます。

野口英世に関する資料や情報などございましたら、ご一報いただきたく願いたします。

令和3年	令和4年	令和5年
3月20日～令和4年3月31日	8月9日	救世観音祭礼
東北DC特別展「野口英世の宝物」	8月19日	道の駅猪苗代PRパネル展
4月24日～令和4年6月末	9月8日	野口英世博士顕彰記念小学校校体育祭
企画展「感染症世界大流行の歴史」	9月18日～11月3日	於猪苗代町運動公園
第93回野口英世博士命日祭	9月30日	喜多方市立美術館 向井潤吉展
5月	9月30日	野口英世博士顕彰記念小中学校音楽祭
5月21日	10月4日	於学びいな
5月	10月4日	野口英世博士顕彰記念少年科学賞審査会
5月30日～6月25日	10月12日～10月22日	於至誠館
山形県飯豊町 野口英世学校パネル展	10月12日～10月22日	山形県庄内町 野口英世学校パネル展
5月31日～7月2日	10月18日～11月30日	山形県庄内町 野口英世学校パネル展
山形県尾花沢市 野口英世学校パネル展	10月18日～11月30日	山形県庄内町 野口英世学校パネル展
6月1日～6月30日	11月9日	野口英世博士顕彰記念少年科学賞授賞式
道の駅猪苗代PRパネル展	11月9日	第27回野口英世博士顕彰記念少年科学賞授賞式
6月5日	11月9日	第145回野口英世誕生祭
第1回理事会（オンライン）	11月9日	第145回野口英世誕生祭
6月5日	11月9日	野口英世記念医学賞選考委員会（オンライン）
野口英世記念医学賞選考委員会（オンライン）	11月9日	野口英世記念医学賞選考委員会（オンライン）
6月10日	11月9日	猪苗代町より花苗寄贈
猪苗代町より花苗寄贈	11月9日	猪苗代町より花苗寄贈
6月12日	11月9日	自然系高校部活動助成金選考会
自然系高校部活動助成金選考会	11月9日	自然系高校部活動助成金選考会
6月16日	11月20日～12月5日	第60回野口英世博士顕彰記念作文コンクール授賞式
第2回理事会（書面審査）	11月20日～12月5日	徳島県美馬市 野口英世巡回展
6月17日	12月5日	徳島県美馬市 野口英世巡回展
緑小学校緑の少年団花プランター寄贈	12月5日	第20回母から子への手紙コンテスト表彰式
6月20日	12月11日	於学びいな
第1回評議員会	12月11日	於学びいな
6月27日	12月	奨学生選考委員会
第3回理事会	12月	奨学生選考委員会
6月27日	12月29日～1月3日	医療従事者応援メッセージ展示
倉根一郎新理事長・本間稔新副理事長就任	12月29日～1月3日	医療従事者応援メッセージ展示
7月8日	1月28日～2月26日	年末年始休館
ガーナオリンピック選手団激励会	1月28日～2月26日	年末年始休館
7月20日	2月8日	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため臨時休館
第2回評議員会（書面審査）	2月8日	新型コロナウイルス感染症拡大予防のため臨時休館
7月20日	3月5日	第1回資金運用委員会
ガーナ共和国猪苗代町	3月5日	第1回資金運用委員会
7月20日		第3回理事会（オンライン）
ホストタウンオリジナルフレーム切手発売		第3回理事会（オンライン）
7月20日		
生家燻蒸		



令和4年度 主な行事予定

令和4年

4月1日～令和5年3月31日

企画展「描かれた野口英世

4月8日～4月17日 愛媛県四国中央市 野口英世巡回展

5月21日 第94回野口英世博士命日祭

6月 第1回理事会

6月 第1回評議員会

8月9日 救世観音祭礼

8月 奨学生懇親会・令和4年度奨学生証贈呈式

9月 野口英世博士顕彰記念小学校体育祭

9月30日 野口英世博士顕彰記念小中学校音楽祭

11月9日 第146回野口英世誕生祭

11月9日 第28回野口英世博士顕彰記念少年科学賞授賞式

11月9日 第61回野口英世博士顕彰記念作文コンクール授賞式

11月 第65回野口英世記念医学賞授賞式

12月 第21回母から子への手紙コンテスト表彰式

令和4年

1月 団子さし

2月 節分豆まき

2月 野口英世博士顕彰記念小学校スキー大会

3月 第2回理事会

3月 第2回評議員会

# 出前授業に行きます！

**科学者** 野口英世の魅力をお話します。

野口英世記念会の職員が修学旅行・遠足などで来館される小・中学校に出かけて、野口英世の生涯と研究業績を、スライドを使ってわかりやすくお話しします。経費はすべて当会が負担します。

出前授業のお申込みは、ホームページの「出前授業申込書」をダウンロードして、必要事項を記入のうえFax(0242-23-7122)してください。

# 寄付のお願い

日頃より公益財団法人野口英世記念会の事業にご理解、ご支援を頂きまして、心より感謝申し上げます。

野口英世記念館は平成27年4月1日にリニューアルいたしました。野口英世の生涯と業績の展示をわかりやすく一新するとともに、野口英世が挑んだ細菌の世界を、ゲームやクイズで体験していただくコーナーを新設しました。多くのお客様に是非一度ご来館いただきたく、お待ち申しております。

この度の新展示館のオープンを機会に、野口英世の生涯と業績をより多くの人に広く知っていただくため、職員一同一層の努力をいたします。

つきましては、皆様には野口英世記念会の活動に重ねてご理解とご支援を頂き、ご寄付を賜りますようお願いもうしあげます。

公益財団法人野口英世記念会

## 寄付の申込方法

- 「寄付申込書」に必要事項をご記入いただき、事務局まで郵便、FAXまたはE-mailでお送り下さい。お申し込みは随時受け付けます。
- お申し込みをいただきましたら、野口英世記念会から郵便振込用紙をお送りします。振込手数料は野口英世記念会が負担します。
- 寄付金の額は、一口3,000円をお願いします。
- ご寄付いただいた寄付金は税法上の優遇措置として「所得控除」の対象となります。寄付金の額から2,000円を引いた額を当該年度の所得から控除できます。ただし、年間総所得額の40%が限度です。
- ご寄付の特典については、ホームページをご覧ください。
- ご寄付を頂いた方は寄付者銘板に芳名を掲載します。掲載を希望されない方はお申しつけ下さい。



## 寄 付 申 込 書

寄付金額 金 円

ふりがな	
氏 名	印
住 所	〒
電話番号	
E-mail	@

◎ ご記入いただきました寄付申込書は、下記事務局まで郵便、FAXまたはE-mailでお送り下さい。

事務局

公益財団法人 野口英世記念会

〒969-3284 福島県耶麻郡猪苗代町大字三ツ和字前田81番地

TEL:0242-85-7867

FAX:0242-23-7122

E-mail:office@noguchihideyo.or.jp

# 野口英世記念館案内

## 【設立】

1939年（昭和14）5月21日 開館  
1954年（昭和29）

福島県第1号登録博物館

## 《ご利用案内》

開館時間

4月～10月

午前9時～午後5時30分

11月～3月

午前9時～午後4時30分

ただし最終入館は閉館30分前まで

休館日

年末年始（12月29日～1月3日）

入館料金

○個人料金

大人 800円

子ども（小中学生） 400円

○団体料金（20名以上）

大人 700円

子ども 300円

○学生団体（学校引率）

小中学生 300円

大学・高校・各種学校 500円

## お問い合わせ

福島県耶麻郡猪苗代町三ツ和字前田81

電話 0242(65)2319

ホームページ

<https://www.noguchihideyo.or.jp>

## 【沿革】

1928年（昭和3）5月21日野口英世博士が西アフリカで殉職した翌月、日本工業倶楽部で行なわれた追悼会に際し、「野口英世博士記念会」（記念会）が設立された。

記念会は、翌年に生家の保存と二つの記念碑を建立、1938年（昭和13）には、文部大臣より財団法人の設立が許可され、その翌年の博士の命日に「野口英世記念館」が開館した。

記念会は、2013年（平成25）4月、公益財団法人に移行し、2015年（平成27）4月には、新展示館をリニューアルオープンした。

2019年（平成31）3月、生家が国の登録有形文化財に登録された。

## 野口英世記念会報 第67号 公益財団法人野口英世記念会

発行日 2022年4月1日

発行人 倉根 一郎

編集人 森田 鉄平

〒969-3284

福島県耶麻郡猪苗代町大字三ツ和字前田81

公益財団法人野口英世記念会

電話 0242(85)7867

FAX 0242(23)7122

E-mail [office@noguchihideyo.or.jp](mailto:office@noguchihideyo.or.jp)



公益財団法人 野口英世記念会